

三島駅前再開発「信得た」

「推進」主張 4選の豊岡市長会見

三島市の豊岡武士市長は23日、4選を果たした市長選後、初の定例記者会見に臨み、選挙戦で「推進」を

明確に打ち出した三島駅南口東街区の再開発事業について「市民の信を得られた」との見解を示した。

同事業では再開発組合が6月に設立された際、認可した県から事業の検証や市民合意に関する「5分野16

項目」の要請が市長や事業関係者に出ている。3氏が出馬した市長選では他候補が同事業について「反対」「検証、見直し」を訴える中、「早期実現」を主張した豊岡市長が2万1千を超える得票数で当選した。豊岡市長は今回の選挙結果を「市民合意の一つの形と受け止めている」とし、「引

き続き丁寧な市民への説明を続けていく」と語った。同事業は三島駅南口の市営駐車場や民有地に広域健康医療拠点や高層マンション、商業施設などを建設する計画。総事業費209億

円のうち、市の支出は37億円を見込む。予定では来春の権利変換計画認可を経て解体工事に入り、2026年度の完成を目指す。
(三島支局・金野真仁)

令和4年(2022年)12月24日(土曜日)